

令和5年度における「みえ森と緑の県民税」の用途について（松阪市）

番号	事業名	事業内容	実績	事業実施による効果	事業費	事業費の内訳		
						交付金	一般財源	その他
1	里山の森林安全安心対策事業	該当地域において関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界確認・測量及び間伐等の森林整備を実施。	森林整備 21箇所 間伐 2.78ha 他	地域の里山が整備されたことにより、地域住民の生活環境の向上や道路の安全性が確保された。	13,030,600	12,931,500	99,100	0
2	森林環境学習事業	市内小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境学習を実施。また、その小学校で市産材を使用し、学校施設の一部を木質化。	小学校 2校 (森林環境学習・木質化)	森林環境学習を実施することにより、木材の活用や森林づくりへの理解を深めることができた。また、一部木質化された校舎で学ぶことにより、さらに木材とのふれあいが進み、理解や興味の相乗効果が期待できる。	2,887,500	2,887,500	0	0
3	松阪の木魅力発信活動事業	市内高校生を対象に林業・木材産業の出前授業（間伐体験・棟上げ体験、森林環境教育等）と松阪の木を使用した木製演台を作製及び寄贈を実施。	森林及び木材の学習及びふれあいの場創出イベント	参加者に対する森林や木材、林業・木材産業への関心を高めることができた。	217,655	72,000	0	145,655
4	保育園木育推進事業	市内公立保育園の備品を市産材で木質化し、森林環境学習の一環として、以前に当該県民税を活用し作製した児童及び園児向けの森林環境学習用絵本の読み聞かせ等を実施。	木製椅子 80脚 木製机 23台	対象者が市産材で木質化された備品に触れることで、木材とのふれあいを促進することができた。	3,073,400	2,000,000	1,073,400	0
5	都市公園整備事業	中村川桜つづみ公園内に市産材を使用した木製東屋を設置。	東屋設置 1基	多くの市民に利用される都市公園において、市産材を使用した東屋を設置したことにより、市民が森林や河川を眺めながら休憩し、自然と親しみ木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まることが見込まれる。	4,599,100	4,000,000	599,100	0
6	流域防災機能強化対策事業	流域における防災機能を強化するため、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備を三重県事業と連携して実施。	間伐 11.76ha	山腹崩壊の発生源となる斜面上部の0次谷や凹地形周辺や、土壌侵食の恐れがある溪流沿いの森林において、森林整備をすることにより、防災機能を強化することができた。	4,530,900	4,530,900	0	0
7	森林再生力強化対策事業	健全な森林の造成、保全を推進するため、森林所有者が植栽と合わせて行う獣害防止柵の設置に対して支援を実施。	獣害防止施設等の整備 囲いネット 10,142m	植栽と合わせて行う獣害防止施設に対する支援を行い、災害に強い森林づくりを進めることができた。	6,727,115	6,727,115	0	0
	合計				35,066,270	33,149,015	1,771,600	145,655